

第 58 回テーマ

安いだけでなく価値を！

8月に入り、お盆前は色々慌ただしかったが、まとめて休みを取る事ができ、色々な街を見る事ができた。仕事でもプライベートでもタウンウォッチングで気にしているのは「物の値段」である。街にある店舗に飾られている物の値段はどうなっているのか？というのは、地域性はもちろん、消費購買の指針の一つになると感じているからだ。

今でも日本はデフレ状態が続き、どんどん物の価値は下がっている。企業努力により「より良いものを、より安く」提供する事が、皮肉にもデフレスパイラルを及ぼし、雇用状況を悪化させ、可処分所得を低下させる結果となっているのが問題であろう。

ただ、もっと問題と感ずるのは、現在の消費者行動の特徴は、ただ「値段が安い」ではなく、その中に「より高い価値」を求めている事が伺える。もちろん、これは昔からそういう傾向はあったが、より貪欲になり、より高いレベルの「価値」を求めようになっているという部分だ。企業努力だけではどうしようもない部分もあり、また、新しいビジネスモデルを構築したとしても資本力の大きい大企業に参入されれば、厳しくなるのは自明の理であろう。

そういった状況の中、どうやって新たな「価値」を生み出すか？というのは、今後の企業の成功要因となるに違いない。情報という価値か？またはサービスという価値か？...もちろんコストとのバランスも必要になるだろうし、何より消費者が「お得感」を感じ得てもらえるものでなければならぬので大変である。

消費者の目が厳しくなり、より高いレベルでの価値を求めている点は企業において大変ではあるものの、ある意味「考える力」を与えてくれる状況ではないか、とプラスに考えたい。

ここで考えに考え抜き、消費者の要求に応えるのが企業だと思うし、一気に競合店舗と差をつけるチャンスであると思う。ぜひ、こういった部分をテーマに議論を進めてもらいたいものである。